

報告

保育現場におけるパソコンの活用調査

A Survey on the Use of Personal Computers in Nursery School and Kindergarten

高本 明美^{*)}、松本 拓也^{**)}、三谷 学^{**)}
Akemi Takamoto, Takuya Matumoto, Manabu Mitani

要旨：保育園や幼稚園において、パソコンがどのように活用されているのか、また保育職を目指す学生に対して、大学の情報教育で、どのような知識技能を身に付けておくことが期待されているのかについて、保育の現場にアンケートし実態を調査した。調査項目は、園におけるパソコンの有無、利用内容、使用者、活用しているソフトウェア、これからの保育士に求めるパソコン技術等からなっている。調査結果について報告する。

Key Words：パソコンの活用、情報教育、保育現場、保育園、幼稚園

はじめに

現在、パソコンは企業や会社における業務や事務処理だけでなく、インターネットを利用した情報収集、発信などに広く一般家庭でも利用されている。教育の現場においても、小学校から大学までパソコンが導入され、児童・生徒・学生に対して、情報教育が行われている。

また、乳幼児と関わる保育園や幼稚園の現場でも、パソコンが利用されてきており、教育職員免許法施行規則に幼稚園教諭の免許取得のためには、情報機器の操作に関して2単位が必修となっている。保育の現場において、パソコンを保育内容に活用した実践報告⁽¹⁾もあるが、実際に保育園や幼稚園ではどのように活用されているのか、また保育職を目指す学生に対して、大学の情報教育で、どのような知識技能を身に付けておくことが期待されているのかについて、保育の現場にアンケートし実態を調査した。

調査対象は、山口県に絞って、保育の現場でパソコンがどのような使われ方をしているのか、そして、現場では情報機器に対してどのような知識技能を

必要とし、学生に何を期待しているかを調べた。

1. 方法

平成21年5月から6月にかけて山口県内の公立保育園(所)、私立保育園(所)、公立幼稚園、私立幼稚園にアンケートを送付した。送付した園は、全部で511園、そのうち392園から返却があり、返却率は76.7%であった。園に送付した数、返却された数、および返却率を表1に示す。認定子ども園については、山口県内に2ヶ所あったがどちらも私立幼稚園と同じ住所であったため、調査には入れなかった。また無認可園は把握できないため調査対象から外した。アンケート内容は、園におけるパソコンの

表1 発送数と返却数

	発送数	返却数	返却率
公立保育園	149	122	81.9%
私立保育園	175	122	69.7%
公立幼稚園	57	49	86.0%
私立幼稚園	130	99	76.2%
計	511	392	76.7%

^{*)} 宇部フロンティア大学人間社会学部児童発達学科教授

^{***)} 宇部フロンティア大学人間社会学部児童発達学科平成21年度卒業生

有無、利用内容、使用者、活用しているソフトウェア、これからの保育士に求めるパソコン技術等からなっている。

2. 結果

2-1. パソコンの有無

園にパソコンがあるかどうかという質問に対して、384園（98.0%）の園でパソコンが有ると回答されていた。結果を表2に示す。

パソコンが園に無いという回答の園が8園あった。そのうち、園所有のものは無いが私物のパソコンを使っている公立保育園が1、来年度には入れたいという私立保育園が1、本部の園にあるので必要ないという私立幼稚園が1、導入未定が私立幼稚園3公立保育園1の計4、パソコンは必要ないという園が私立保育園で1あった。また、パソコンが有りと回答した園の中に、パソコンは有るけど、まだ活用していないという園が公立保育園で1園あった。現状では、パソコンの無い園は少数であり、ほとんどの園にパソコンが有り、活用されていた。

表2 パソコンの有無

	有り	無し
公立保育園	120	2
私立保育園	120	2
公立幼稚園	49	0
私立幼稚園	95	4
計	384	8

2-2. パソコンの利用内容

パソコンが有ると回答のあった園について、パソコンをどのように使っているか、複数回答で求めた。回答項目は、事務処理関係に活用、ホームページや園だより・お知らせ等に活用、保育内容に活用、園児が自由に活用、その他からなる。パソコンが有ると回答のあった園のうち、有るが使っていないと回答のあった1園を除いた383園について、公立・

私立の保育園・幼稚園別に、利用内容の割合を表3に示す。

事務処理関係にパソコンを利用している園が全体の96.3%あり、公立・私立の保育園・幼稚園ともに最も多かった。また、事務処理関係にのみ利用している園は、公立の保育園（14園）・幼稚園（7園）で12.5%あり、私立の保育園（9園）・幼稚園（3園）は5.6%であった。公立と私立では差が有り、事務処理関係にのみ利用している園は、公立の方が割合が高かった。事務処理にパソコンを利用していない園が14（3.7%）あった。そのうち1園では、写真の管理のみ利用していると回答であったが、その1園を除く13園ではホームページや園だより・お知らせに活用されており、さらに保育内容に活用している園もあった。

パソコンをホームページや園だより・お知らせなどに利用している園は、全体で87.2%あったが、公立、私立で比べると、保育園も幼稚園も私立の方が多く利用している傾向が見られた。特に幼稚園において、公立幼稚園の75.5%に対して、私立幼稚園は93.7%あり、18ポイントの差があった。

保育内容にパソコンを利用している園は、どこも40%前後で公立・私立の保育園・幼稚園にあまり差はみられなかった。園児が自由にパソコンを利用している園は少なく、公立幼稚園で1園、私立幼稚園で1園あった。

その他の自由記述欄に記入されていた利用内容では、栄養計算など給食関係に使用、デジタルカメラの写真の管理や印刷、研究成果物の作成・研究発表、保護者との連絡等メール、インターネット等の情報収集、ポスター等の作成などが挙げられていた。

2-3. パソコンの使用者

パソコンを利用していると回答の有った園（383園）に、パソコンの主な使用者を複数回答で求めた。主な使用者の割合を図1に示す。

最もよく使っているのは、園長・主任で、特に公立の保育園・幼稚園では、97.0%であった。続いて

表3 パソコンの利用内容

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園	全体
事務処理	96.6%	97.5%	95.9%	94.7%	96.3%
HP・園便り	85.7%	88.3%	75.5%	93.7%	87.2%
保育内容	39.5%	45.0%	44.9%	42.1%	42.6%
園児の利用	0.0%	0.0%	2.0%	1.1%	0.5%
その他	8.4%	5.8%	4.1%	6.3%	6.5%

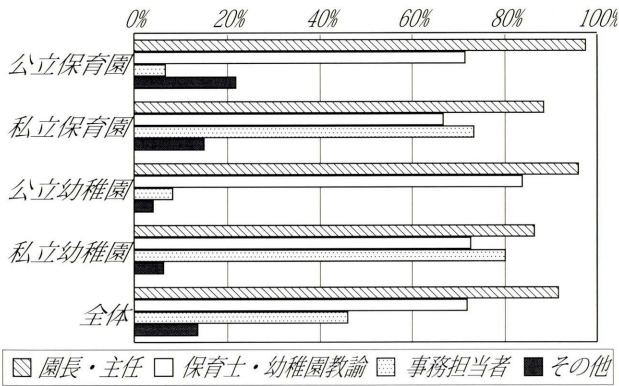


図1 パソコンの使用者

保育士・幼稚園教諭が全体で71.8%と良く利用しており、その中でも保育士よりも幼稚園教諭の方が公立・私立ともに多かった。事務担当者が、公立の保育園・幼稚園にはいないところが多く、そのため事務担当者の利用は、公立では極端に少なくなっていた。

その他として、栄養士・給食担当者を挙げている園が44園(11.5%)あり、公立・私立の保育園で多かった。他には、PTAが3園、パソコン専任者が2園、園児1園、特に記入なし2園であった。

2-4. 活用しているソフトウェア

園で活用しているソフトウェアについて、複数回答で質問した。活用しているソフトの割合を表4に示す。文書作成ソフトは、全体で97.4%、続いて表計算ソフトが90.6%の使用率で、この2つのソフトウェアは、ほとんどの園で使用されていた。パワーポイントは、公立・私立ともに保育園に比べて、幼稚園の方が高い使用率で、パソコンを使ったプレゼンテーションの機会が幼稚園の方が多く伺える。多量のデータを蓄積・管理するデータベースのソフトは、公立保育園・幼稚園に比べて私立保育園・幼稚園の方が高い傾向がみられた。ホームページ作成ソフトは、私立保育園・幼稚園で使用率が高く、特に私立幼稚園は50.5%で、半数の私立幼稚園で使用されていた。私立の保育園・幼稚園は、園独自の保育方針をもち、それを広く公表するための道具として園のホームページが活用されている。また、園児数の減少が懸念される私立幼稚園では、園児を募集する広報活動のひとつの手段としてホームページが活用されていると思われる。

表4 使用ソフトウェア

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園	全体
文書作成ソフト	98.3%	96.7%	98.0%	96.8%	97.4%
表計算ソフト	88.2%	90.0%	93.9%	92.6%	90.6%
パワーポイント	15.1%	26.7%	44.9%	37.9%	28.2%
データベース	11.8%	23.3%	0.0%	25.3%	17.2%
HP作成ソフト	4.2%	25.0%	0.0%	50.5%	21.7%
その他	5.0%	14.2%	2.0%	6.3%	7.8%

その他の欄に記入されていたソフトウェアは、動画・画像処理ソフト、会計・経理ソフト、栄養計算ソフト等であった。その中で、パソコンの使用者に園児を挙げていた公立幼稚園1園は、使用ソフトにキッズソフトが記入されていた。

2-5. 保育者に求めるパソコンの技術

パソコンの有無に関わらず、保育の現場の方が、保育職を目指す学生に、どの程度のパソコンの技術を求めるかを質問した。質問は、文書作成ソフト、表計算ソフト、パワーポイント、データベース、ホームページ作成ソフト、プログラミングの6項目について、“資格者程度”、“できる”、“普通”、“多少”、“不要”の5段階で評価してもらった。アンケートの返却があった392園の中で、6項目すべてに未回答の園が7園(7園ともパソコン有り)あったので、この7園を除く、385園で集計した。ソフトごとに求められているパソコン技術の割合を図2に示す。

求められているパソコンの技術は、文書作成ソフトが最も高く全体の半数以上の園が“できる”というレベルを求め、“資格者程度”、“できる”、“普通”

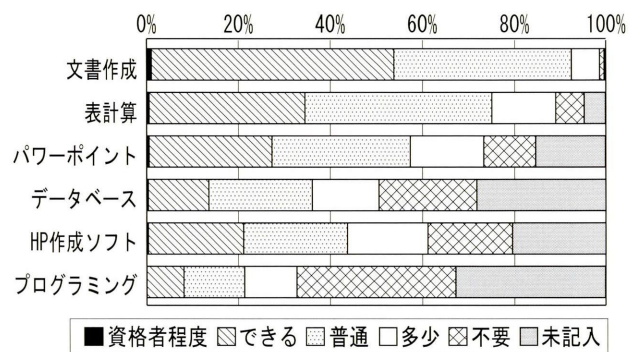


図2 保育者に求めるパソコンの技術 (全体)

通”の3つのレベルで全体の92.5%に達している。続いて表計算ソフトの技術が求められ、“資格者程度”、“できる”、“普通”の3つのレベルで全体の75.1%を占めている。“資格者程度”、“できる”、“普通”の3つのレベルを合わせるとパワーポイントは57.4%、データベースは36.1%、ホームページ作成ソフトは43.6%になっており、プログラミングの技術まで要求している園は21.3%と少なかった。

求めている技術レベルの比較的高かった文書作成ソフト、表計算ソフト、パワーポイント、ホームページ作成ソフトの4つについて、公立・私立、保育園・幼稚園の別に集計した割合を表5から表8に示す。

文書作成ソフトについては、“できる”というレベルを公立幼稚園で67.3%、私立幼稚園も“資格者程度”と合わせて61.2%が求めており、公立・私立ともに保育園に比べて幼稚園の方が高い技術力を要求している。しかし、保育園でも半数近くの園で、“できる”レベルまで求められていた。

表計算ソフトについては、公立・私立ともに幼稚園では“できる”レベルが最も多く、保育園では“普通”のレベルが多かった。公立の幼稚園が最も高いレベルを要求しており、“できる”レベルが51.0%で、“普通”と合わせると89.8%になっている。私立幼稚園は、“資格者程度”を求めている園が2%ある一方で“不要”としている園が11.2%あり、園によるばらつきが大きかった。私立保育園は、“できる”レベルを要求している園が他に比べて少なく47.1%が“普通”のレベルを求めている。

パワーポイントについても、表計算ソフトと同様に、公立・私立ともに幼稚園では“できる”レベルが多く、保育園では“普通”のレベルが多かったが、表計算ソフトよりも要求している園の数は少なくなっている。

ホームページ作成ソフトについては、私立幼稚園で“できる”のレベルを31.6%が求めており、“普通”以上が55.1%あり、公立幼稚園よりも高い技術を求めている。

全体的に、保育園よりも幼稚園でパソコンのより高い技術を求めている。公立、私立で比較すると、ホームページ作成ソフトを除いて、公立の方がより高い技術を求めている。その結果、ホームページ作成ソフトを除いて、公立幼稚園、私立幼稚園、公立保育園、私立保育園の順に、パソコンに対する技術の高さを求めている。

表5 文書作成ソフト

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園
資格者程度	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
できる	48.7%	47.1%	67.3%	57.1%
普通	47.1%	42.9%	30.6%	27.6%
多少	4.2%	7.6%	2.0%	9.2%
不要	0.0%	1.7%	0.0%	2.0%
未記入	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表6 表計算ソフト

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園
資格者程度	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
できる	34.5%	25.2%	51.0%	35.7%
普通	45.4%	47.1%	38.8%	27.6%
多少	10.9%	15.1%	8.2%	19.4%
不要	3.4%	6.7%	2.0%	11.2%
未記入	5.9%	5.9%	0.0%	4.1%

表7 パワーポイント

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園
資格者程度	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
できる	24.4%	16.8%	40.8%	34.7%
普通	30.3%	34.5%	40.8%	19.4%
多少	12.6%	16.8%	14.3%	19.4%
不要	7.6%	16.8%	0.0%	15.3%
未記入	25.2%	15.1%	4.1%	9.2%

表8 ホームページ作成ソフト

	公立保育園	私立保育園	公立幼稚園	私立幼稚園
資格者程度	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
できる	14.3%	17.6%	22.4%	31.6%
普通	24.4%	19.3%	26.5%	22.4%
多少	11.8%	22.7%	24.5%	14.3%
不要	11.8%	24.4%	10.2%	23.5%
未記入	37.8%	16.0%	16.3%	7.1%

3. 考察

今回調査した山口県内の保育園・幼稚園において、回答のあった392園のうち384園(98.0%)にパソコンが有り、ほとんどの園にパソコンが有り活用されていることが分かった。自由記述の欄に、「園では毎日のように、手紙、園だより、提出書類などに使っています。」「保育職もパソコンが使えないと仕事になりません」などパソコンを積極的

に活用しているという園がある一方で、「これから必要と思うが、現在は保育中にパソコンに向かう時間がない」といった意見や、「手書きのよさ、暖かさも大切です」、「パソコンに向かうより園児とのふれあいを大切にしたい」、「将来的に必要なかもしれないが、今はパソコンを使えなくても支障はない」という意見も寄せられた。

パソコンの利用に関しては、全体の96.3%が事務処理に使用しており、特に公立保育園・幼稚園では事務処理にのみ使っている園が私立に比べて多く見られた。一方、私立保育園・幼稚園では事務処理だけでなく、ホームページや園だより・お知らせ等に幅広くパソコンを活用していた。園児を募集する必要のある私立でホームページや園だより・お知らせ等の利用率が高く、特に私立幼稚園で非常に高い傾向が見られた。園児にパソコンを利用させている園は少なく、公立幼稚園1、私立幼稚園1だけであった。まだまだ、保育に積極的にパソコンを活用する状態にはなっていないようである。

パソコンの使用者は、園長・主任が最も多かった。これは、ほとんどの園がパソコンを事務処理に利用している結果である。しかし、保育士・幼稚園教諭も全体の71.8%が使用しており、将来、保育士・幼稚園教諭を目指す学生は、パソコンに対する知識技術を身に付けておく必要がある。

園で活用しているソフトウェアも、パソコンを事務処理に使用している関係で文書作成と表計算のソフトウェアがともに90%以上使用されていた。パワーポイントは、プレゼンテーションの機会の多い幼稚園が、保育園に比べて使用率が高くなっていた。データベースのソフトやホームページ作成ソフトは、私立の保育園・幼稚園の方が公立に比べて使用率が高く、特に私立幼稚園ではホームページ作成ソフトを半数以上の園で使用していた。公立保育園では、文書作成と表計算のソフトが主に活用され、公立幼稚園は、それに加えてパワーポイントも活用されていた。私立の幼稚園・保育園は、活用してい

るソフトウェアが公立に比べて多く、多岐にわたっており、その中でも幼稚園は、保育園に比べて使用率が高くなっていた。

保育職を目指している学生に求めているパソコンの技術については、文書作成ソフトが最も高く90%以上の園が“普通”以上のレベルを求めている。続いて、表計算ソフト、パワーポイント、ホームページ作成ソフト、データベース、プログラミングの順により高い技術を求めている。これは、園で活用されているソフトウェアと同じ順であり、この傾向は、公立、私立の保育園・幼稚園ともに、ほぼ同じであった。“資格者程度”の技術を求めているのは、私立幼稚園に少しあったが、他の園にはなかった。

今回のアンケート調査は、無記名で行い、公立・私立の保育園・幼稚園の区別のみ行った。そのため、園児がパソコンを利用していると回答の有った園や保育内容に積極的に活用していると回答のあった園もあったが、園を特定することができず、園児がどのように使っているのか、またキッズソフトとしてどのようなものを利用しているのか等具体的な内容を調べることはできなかった。

現在本学では、保育職を目指す学生に対して、文書作成および表計算のソフトを使用する授業科目を設定している。しかし、今回の調査により、文書作成および表計算のソフトだけでなく、より広くパソコンを活用できる知識技能が必要になってきていることがわかった。

謝辞

アンケートにご協力頂きました山口県内の幼稚園、保育園の皆様に深謝いたします。

引用文献

- (1) 倉戸直美・岸本義博編著 (2004) 『コンピュータを活用した保育の実際』 北大路書房